

令和8年4月27日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和7年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和7年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

開館日数 305日

常 設		展 覧		特 別		合 計	
区 分	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)
個 人	大 人 200	11,404	2,280,800	大 人 300	2,504	751,200	13,908
	小中学生 100	2,672	267,200	小中学生 150	911	136,650	3,583
30人以上	大 人 160	3,400	544,000	大 人 240	452	108,480	3,852
	小中学生 80	1,001	80,080	小中学生 120	189	22,680	1,190
100人以上	大 人 120	9	1,080	大 人 180			9
	小中学生 60	57	3,420	小中学生 90			57
個人 50%	大 人 100	653	65,300	大 人 150	139	20,850	792
	小中学生 50	149	7,450	小中学生 75	57	4,275	206
団 体 30人以上50%	大 人 80	3	240	大 人 120			3
	小中学生 40	3	120	小中学生 60			3
団 体 100人以上50%	大 人 60	21	1,260	大 人 90			21
	小中学生 30	21	630	小中学生 45			21
100%	大 人	959		大 人	207		1,166
	小中学生	2,320		小中学生	477		2,797
特別利用券利用者	大 人	2		大 人	81		83
	小中学生			小中学生			
合 計	大 人	16,451	2,892,680	大 人	3,383	880,530	19,834
	小中学生	6,223	358,900	小中学生	1,634	163,605	7,857
	計	22,674	3,251,580	計	5,017	1,044,135	27,691
							4,295,715

特別展、企画展等の開催

海洋科学館

特別展

期 間 令和7年7月19日（土）～8月31日（日）
名 称 「川や池の生き物たちの世界」
内 容 岡山大学大学院応用生態学分野中田研究室と連携し、身近な地域の淡水魚の生態を子ども向けに分かりやすく展示。
全体の監修は、同研究室の森内海渡氏（同大学院博士後期課程）
入館者数 5, 017人

科学館の指導普及事業

（1）運営協力会の開催

委員数 18名
開催日 第1回 令和 7年 4月26日（土）
第2回 令和 7年 8月30日（土）
第3回 令和 8年 2月14日（土）

（2）科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」

内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	開講式・塩づくり体験 「顕微鏡でDNAのかたまりを見てみよう！」	5月24日（土） 9:00～12:00
第2回	「ふしぎタネラボ 一切って、見て、考える科学教室ー」	6月21日（土） 9:00～12:00
第3回	施設見学 (倉敷科学センター)	9月13日（土） 8:10～16:30
第4回	自然観察会 「坂越の自然について知ろう！」	10月25日（土） 9:00～12:00
第5回	天体観測会「冬の星と惑星」	11月15日（土） 17:30～20:00
第6回	バードウォッチング 「野鳥がすむ環境を守ろう！」	1月17日（土） 9:00～12:00
第7回	「気象予報士に挑戦！」 開講式	2月14日（土） 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員

参加者 市内小学4年生～6年生 24名

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和7年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	23,170,000	21,722,227	1,447,773	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	4,037,000	4,295,715	△ 258,715	施設利用料収入
合 計	27,207,000	26,017,942	1,189,058	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	16,062,000	15,831,672	230,328	職員給 4人
臨時雇賃金支出	20,000	19,812	188	臨時職員賃金パート2人
福利厚生費支出	2,953,000	2,739,364	213,636	社会保険料外
小 計	19,035,000	18,590,848	444,152	
物件費				
旅費交通費支出	17,000	0	17,000	
消耗品費支出	210,000	198,625	11,375	施設管理用消耗品外
燃料費支出	51,000	40,816	10,184	ガソリン代
会議費支出	3,000	1,479	1,521	来客賄
印刷製本費支出	468,684	402,295	66,389	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	3,255,000	2,712,713	542,287	電気代外
修繕費支出	322,410	322,410	0	天井修繕外
飼料費支出	13,000	12,505	495	展示用魚餌代
通信運搬費支出	150,906	150,906	0	電話料外
保険料支出	71,000	55,600	15,400	自動車損害保険料外
手数料支出	14,000	13,200	800	ホームページ変更作業
委託料支出	2,794,000	2,793,288	712	清掃管理業務委託 1,179,860 展示備品管理業務委託 443,300 建物管理業務委託外 1,170,128
使用料賃借料支出	689,000	614,554	74,446	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	61,000	56,914	4,086	施設備品
諸謝金支出	30,000	30,000	0	特別展謝礼
負担金支出	20,000	20,000	0	兵庫県博物館協会負担金外
雑費支出	2,000	1,789	211	諸雑費
小 計	8,172,000	7,427,094	744,906	
合 計	27,207,000	26,017,942	1,189,058	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書
(令和7年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	96,000	96,000	0	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	470,000	350,917	119,083	科学館指導普及事業補助金
合 計	566,000	446,917	119,083	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 131,150 子ども科学教室事業 315,767
旅費交通費支出	9,000	8,700	300	旅費
消耗品費支出	79,000	56,351	22,649	教材外
会議費支出	36,000	9,140	26,860	ボランティア賄外
印刷製本費支出	21,000	21,000	0	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	6,000	760	5,240	郵便料
保険料支出	20,000	7,166	12,834	ボランティア保険料外
使用料賃借料支出	160,000	138,800	21,200	子ども科学教室施設見学
諸謝金支出	235,000	205,000	30,000	講師謝礼
合 計	566,000	446,917	119,083	

令和7年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立海洋科学館				
所在地	兵庫県赤穂市御崎1891番地4				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	令和 7 年 4 月 1 日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和 8 年 3 月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため				
主な実施事業	(1)海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2)海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3)展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4)学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5)前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R6実績	目標	R7実績	目標	R8実績
a	利用者数	人	30,000	26,111	30,000	27,691	27,000	
b	稼働率	%		87		92		
c								
d								
e								

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和6年度決算 (指定期間1年目)	令和7年度決算 (指定期間2年目)	令和8年度予算 (指定期間3年目)
収入計 A		25,778,885	26,464,859	27,086,000
	指定管理料	21,370,170	21,722,227	22,730,000
	利用料収入 C	3,941,520	4,295,715	4,160,000
	自主事業収入	467,195	446,917	196,000
	その他	—	—	—
支出計 B		25,778,885	26,464,859	27,086,000
	事業費	25,311,690	26,017,942	26,890,000
	内、人件費 D	17,822,993	18,590,848	19,419,000
	内、再委託料 E	2,743,632	2,793,288	2,796,000
	自主事業費	467,195	446,917	196,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用料比率	C/A	15.3%	16.2%	15.4%
人件費率	D/B	69.1%	70.3%	71.7%
再委託費比率	E/B	10.6%	10.6%	10.3%
・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。				
補足説明				

4 事業評価

評価区分		評価項目	自己評価	所管評価
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
② サービスの質	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B
	財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B
	総括	①サービスの履行に関する評価	B	B
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
		利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B
	提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C
	総括	②サービスの質に関する評価	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 年度初めより、ネーミングライツ・パートナーによる愛称を入れたポスターやパンフレットを市内の旅館等に設置・掲出していただき、SNSの活用も含めて継続的に日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂の情報発信に努めた。その結果、「塩づくり体験」や「塩田案内」「釜焚き実演見学」をめあてに来館者が少しずつではあるが増加し、徐々にコロナ前の水準に戻りつつある。海浜公園の入園者に向けた園内掲示や海浜公園内の事業者との連携に努めたことも功を奏し、子ども連れの家族から高齢者まで、多くの方々に「播州赤穂の塩づくり」を楽しんでいただけた。海外からも来館される方が増えている。今後も入館者に対して、丁寧な案内と接客を心掛けつつ、体験型施設としての魅力をさらに向上させるとともに、リピーターの確保にも力を入れたい。同時に、科学館としての施設設備のメンテナンスも計画的に進め、より良い運営を行っていききたい。		
	【所管評価】 適切な管理運営を行い、特別展を実施するなど、利用者増に努めている。 引き続き、適切な施設管理と、広報やSNSを活用した積極的な情報発信を行い、利用者増への取り組みにさらに努められたい。 また、赤穂市と協同し、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂の情報発信に力を入れ、塩の国とともにその魅力向上に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。